



下取りしたリサイクル機械の
部品を使って再生した製品
■滑川市中村のエムダイヤ

滑川のエムダイヤ 下取り部品を活用

リサイクル機械メーカーのエムダイヤ(滑川市)は、廃棄物に付加価値を与えてより良い製品に変換する「アップサイクル」の取り組みを始めた。自社が顧客企業に販売したりサイクル機械を下取りし、古い部品を再利用して新しい機械によりがえらせる。SDGs(持続可能な開発目標)の一環として、企業ブランドの向上につなげる。

同社は中国地方の顧客企業から、家電の処理に利用されていた自社の分離破碎機「エコセパレ」を下取りし、大小10

0本のボルトや鉄板カバーなどを取り出してサビを取り除き、再塗装した。これらの部品と新しい部品を組み合わせ、工場に展示するデモ機を完成させた。

今期(2023年12月期)以降、複数のリサイクル機械の部品を組み合わせ、年間数台の市場供給を目指す。森弘吉社長は「原材料高も続く中、リサイクル機械メーカーとして意義深い取り組みにしたい」と話した。

名古屋中小企業投資育成(名古屋市)は17日、エムダイヤに投資を実行したと発表した。金額は非公表となる。

富山新聞

2022年(令和4年)

2月18日(金)

富山新聞社

〒930-8520富山市大手町5番1号

番号案内(076)491-8111

金沢本社 番号案内(076)263-2111

〒920-8588 金沢市南町2番1号

©北國新聞社 2022年

<https://www.hokkoku.co.jp/list/toyama>